

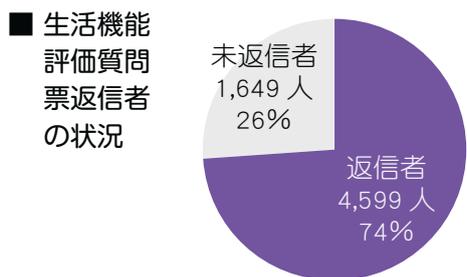
介護予防のための 生活機能評価質問票の結果を報告

生活機能とは、からだや心の働き・家事や仕事をこなす能力・家庭や社会での役割などを含む総合的な機能のことです。

介護予防を推進するにあたり、市民のみなさんの生活機能や健康状態を把握するために実施した「生活機能評価質問票」の結果をご報告します。

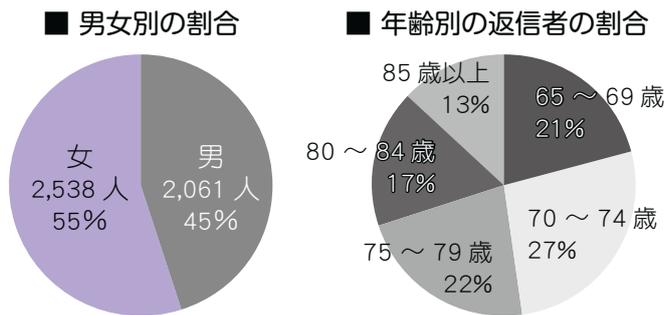
1 対象者

市内在住の65歳以上の方（介護保険の要介護者、要支援者、施設入所者は除く）を対象に実施し、返信数 4,599人、返信率73.6% でした。



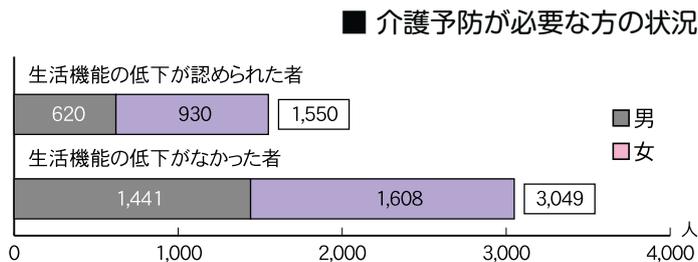
2 返信者の状況

内訳は男性 2,061人（44.8%）、女性2,538人（55.2%）でした。年代別では70～74歳の返信者が一番多く、次いで75～79歳が多い状況でした。



3 介護予防が必要な方の状況

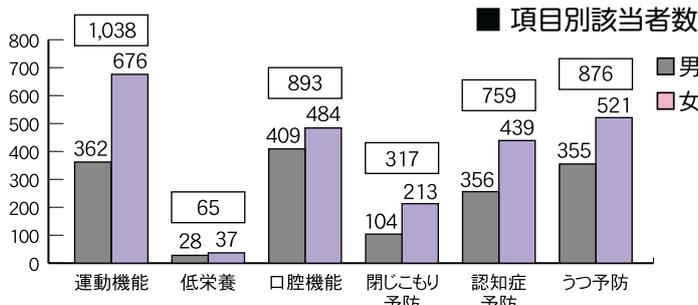
生活機能の低下がなかった方が3,049人（66.3%）、内男性1,441人（47.3%）、女性1,608人（52.7%）、生活機能の低下が認められた方は1,550人（33.7%）、内男性620人（40.0%）、女性930人（60.0%）でした。



4 項目別の状況

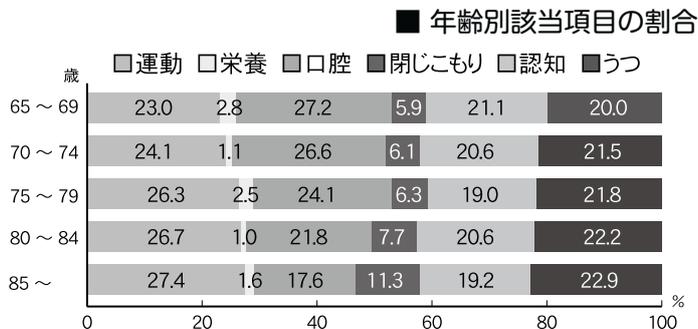
介護予防としてあげられている6項目の状況をみると、運動機能1,038人（22.5%）が最も多く、次いで口腔機能893人（19.4%）でした。

男女別でみると男性は口腔機能409人（19.8%）が最も多く、女性は運動機能676人（26.7%）が最も多い状況でした。



5 年齢別でみた介護予防が必要な項目

65歳から80歳までは「運動機能の向上」と「口腔機能の向上」が必要な方が多いのに対し、80歳以上は「運動機能の向上」と「うつ予防」が必要な方が多くなっています。「運動機能」については各年齢層において足腰が弱くならないような介護予防が必要であり、年齢を増すにつれこころの健康維持も重要なことがわかりました。市では、結果に応じて介護予防が必要な方には介護予防教室のお誘いをしています。また、今年度も「生活機能評価質問票」を送付させていただく予定です。「若いから必要ない」「まだ元気だから大丈夫」「もう年だから…」と介護予防をあきらめずに、いつまでも自分らしい生活が送れるよう早い時期から介護予防に取り組みましょう。



■お問い合わせ 保健課介護支援担当 ☎ 23-4313